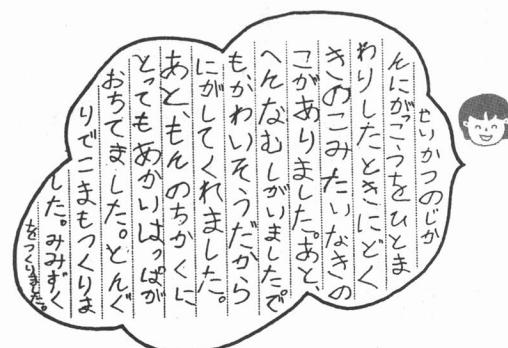
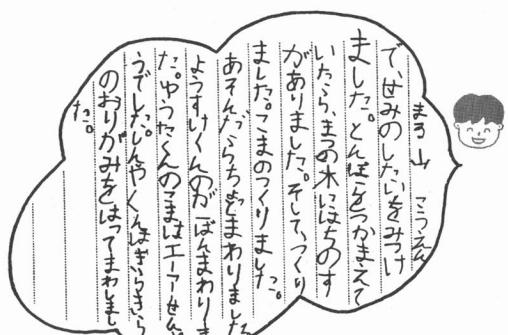


起させ、生き生きと活動できるように工夫したことによると考えられる。

## (2) 学習についての感想文について

単元の学習終了時に、『「秋となかよし」で勉強したことをおうちの人へ教えよう』と働きかけ、感想文を書かせた。

それを見ると、「おもしろかった」「楽しかった」「うれしかった」など、直接的な表現をした児童は12名いた。木の実や木の葉さがし、飾りや遊びに使うものを作ったことに関する内容が多く、どの子も活動や体験に楽しく取り組んだことが分かった。以下は、感想文の例である。



## (3) 教師の援助・評価カードについて

カードの中の「児童のようす」は、事前のアンケート結果や具体的な活動や体験における観察、児童の自己評価（「できたぞカード」）などをもとに、一人一人の児童について記入していく。

単元名	秋となかよし	NO.	8
児童名	S 男		
観 点	具体的な観点	児童のよす	
① 事前の活動体験	木の葉、実、草花の遊び、製作	遊んでいたことがある。どんな感じ?	
② 事前の興味・関心	木の葉、草花の遊び	どういった興味がある?	
③ 事前の生活習慣・技能	はさみ、のりなどの使い方	どうやって使う? パンパンになっている。	
④ 友だとの協力・協調	仲よく、楽しく活動する	どうして仲良くなっている?	
⑤ 活動意欲・積極性	進んで集めたり、作ったりする	どうして積極的? 何に興味がある?	
⑥ 根気・持続性・創造工夫	材料選び、製作の工夫と意欲	どうして根気がいい? 何を工夫している?	
⑦ 自分への気付き	季節に合った生活、学習後の変化	どうして自分自身の変化を感じている?	
⑧ 社会や自然への働きかけ	木の葉、実などの観察と関心	何を観察する? 本の裏(裏表紙)を見て!	

その他 ◆『ぼく・わたしの木』に対する思い…特に記入はなかった。  
かわいい木で、おもしろい。  
みんなでこの木を育てるところが楽しい。

生活科においては、教師も児童といっしょに活動することが望まれる。そのため、児童の活動の様子は、学習終了時に記入することにし、3、4時間連続した活動だったので、できるだけ多くの児童を見取ることを心がけた。

また、一人一人の児童のよさを生かし、伸ばすように援助するとともに、一人一人のちがいを大切にしたいと考えた。

## 3. 研究のまとめ

児童一人一人の興味関心や学習意欲をとらえ、生き生きと活動し、自ら考えたり、表現したりできるよう支援するうえで、自己評価カードや教師の支援・評価カードは、効果があったと思われる。今後活動のねらいに応じ、さらに内容を工夫していきたい。